The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	利用学生の声　サイバーメディアフォーラム no.20 CALLシステム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2020, 20, p. 34-34
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/77285
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

■ 利用学生の声

電子教材をすぐに使うことができる。音声や映像など、書籍にはない点を活かした学習ができました。また教師と学生、ドイツ人学生と日本人学生などがより簡単でタイムリーに繋がることのできるネットワーク環境があるので、静的でないアクティブな学びを体験できる。このことは私自身のドイツ語学習においてとても大きな助けになったと思うし、他の第2外国語学習にとっても、また他の学問の学びにおいても有効であると思う。

津野 玄親 （理学部数学科）

この授業では、主にPCを使って授業をしました。内容がPC上で上手くまとめられていて、見やすく理解もしやすかったです。課題も端末を使ったり、インターネットを通じてnativeの人とつながりをもったりすることができて、様々な能力が養われました。

今村 志郎 （医学部）

机に向かって、ただ暗記するだけの授業とは違って、インターネットを活用して、ドイツ語に触れることで、発音にも気を遣い、他国の学生との交流も交えながら楽しんで勉強することができた。

安保 貴悠 （理学部物理学科）

PCとノートや教科書を同時につかえるので、授業中にできることのはばが広がると思う。PCにヘッドフォンがついているのも良い。

嶋 啓佑 （基礎工学部）

コンピューターを使った学習は様々な便利なアプリを利用できたり、ネイティブの方とやりとりできたりと多様性のある授業をすることができ、面白かったです。

梅原 一佳 （基礎工学部）

サイバーメディアセンターで授業をすることで、パソコンでゲーム感覚で問題を解いたり、iPadを用いて海外の学生と交流できたりしてよかったです。

片岡 菜月 （医学部医学科）